

押さない予約枠のつくり方 3案

予約が押すのは、腕の問題ではありません

店舗では、次の予約が入っていたから終われました。自宅サロンには、その強制終了がありません。「もう少しだけ」がいくらでも入ってしまう—まずは、押す原因がどこにあるかを整理します。

押す原因は、ほとんど「当日」に発生しています

当日 1

デザインが決まらない

オフが終わってもまだ迷っている。カウンセリングだけで時間が過ぎる。

当日 2

その場で足される

「ちょっとだけアート足しても？」1本のつもりが数本になる。

当日 3

予定と違う状態だった

リフト・欠け・深爪。整えるところから必要になる。

同じ「1人」でも、所要時間は大きくぶれます

オフだけで30分前後。シンプルなワンカラーを重ねて1時間半～2時間。アートやパーツが増えれば、さらに大きく変わります。だから「1日〇人まで」という人数の上限では、時間を守りきれません。

対策は、3つあります

どれが正解ということはありません。生活の形に合うものを選んでください。

1 提案を3つに絞って出す

サンプルをすべて見せるのをやめ、その日におすすめする3つだけを並べます。選択肢が多いほど、人は決められません。迷う時間そのものを作らない方法です。

向いている人：カウンセリングが長引きやすい／お迎えの時刻が決まっている
気をつけること：選んだ理由を添えると、手抜きに見えませぬ

2 当日の追加は、次回にまわす

「本日はここまで、続きは次回に」とメニュー表に先にご書いておきます。その場で断る必要がなくなり、次回予約のきっかけにもなります。

向いている人：常連さんが多い／リピートを増やしたい
気をつけること：予約時に必ず伝わる場所に書いておく

3 枠と枠のあいだに、余白を置く

予約と予約のあいだを空けておき、押しても吸収できるようにします。もっとも確実ですが、1日に受けられる人数は減ります。

向いている人：所要の読めないメニューが多い／体力を守りたい
気をつけること：余白の分を、単価か営業日数で補う

押さない予約枠の作り方 3案

わたしの決めごと

空欄を埋めてから、予約ページとプロフィールに書き写してください。

わたしが選んだのは（複数可）

- ☐ 1 提案を3つに絞る ☐ 2 追加は次回にまわす ☐ 3 枠に余白を置く

提案するサンプルは、何枚にしますか 例）3枚。爪の状態・季節・前回のデザインから選ぶ

当日の追加は、どう扱いますか 例）本日はここまで。続きは次回のご予約で承ります

1日の営業を、何時に終わめますか 例）15時までには施術終了、15時30分に片づけ完了

枠と枠のあいだに、何分空けますか 例）30分。押した日はここで吸収する

この決めごとを、どこに書きますか 例）プロフィール／予約フォーム／ハイライト「注意事項」

決めたことは、あとから変えていい

実際に運営してみないと、無理のない線は分かりません。1か月試して合わなければ、変えて構いません。変更するときは「〇月から変更します」と先にお知らせすれば、トラブルにはなりにくいです。

見直す日：

選択肢を減らすのは、不親切ではありません

「何でもできます」「どれでも大丈夫です」は、親切に見えて、判断をまるごとお客様に預けています。爪の状態と季節と前回のデザインから3つを選んで差し出すほうが、ずっと手のかかる仕事です。